



## Q・太陽光発電の推進を

### A・屋根貸しについては、実施自治体と連携・情報交換を図る

Q

① 新栄小学校に設置した太陽光発電を、順次他の学校に設置の計画は。  
② 学校のみならず他の公共施設にも設置しては。

③ 屋根貸しを始めてはどうか。愛知県始め名古屋市、岩倉市、春日井市等、いくつかの自治体で、太陽光発電の屋根貸しを始めている。

県では、  
県有施設の屋根貸しをさらに増やすとのこと。本町でも始めてはどうか。

A

① 老朽化した校舎の改築を含めた検討が必要な

Q

② 現在設置している装置が、低炭素社会の実現に向けた取組の一環であり、現時点で全ての公共施設を対象に設置する予定は無い。

③ 実施自治体との連携、情報交換を図りながら調査・研究を行いたい。

Q

弱者に寄り添う福祉行政を

A・福祉作業所への送迎・相談支援専門員の設置は考えていない

Q

① 豊山町の作業所でも、送迎の便宜を計るべきである。他市町の作業所は送迎がある。親の高齢化等の社会の変化に対応した施策が必要である。

A

① 福祉作業所は、「自分で歩いて通所」、「付添があれば通所」、「介助があれば通所」の入所基準を満たした場合に作業所への入所を許可していることから、送迎を行うことは考えていない。

② 相談支援専門員は、地元で置くべきである。町民がより暮らしやすくなるために、福祉課または社協に置くべき。

② 町が委託している相談支援事業所が、多岐にわたる障害分野でケースに応じた相談と、専門機関への連絡調整を受けもっていることから、相談支援専門員設置の考えはない。



新栄小学校の太陽光発電